

新入生の皆さん、上智大学外国語学部ポルトガル語学科へようこそ。多くの人にとって社会人になる前に自分が過ごす最後の教育段階となる大学という学府で何を学びたいかということ、10代という多感な時期に一生懸命考えて、「ポルトガル語学科」という選択をした皆さんと出会えたことを教員一同とても嬉しく思います。

皆さんがポルトガル語学科を選んだ理由は何ですか？日本史で知った日本とポルトガルの歴史的関係の深さ、世界史で学んだ大航海時代に7つの海を制したポルトガルの存在というように、これまでの勉強の過程でポルトガル語圏の世界と出会った人、ブラジルやアフリカ諸国の経済的プレゼンスに関心を持ったというビジネス趣向の人、スポーツ、音楽、食といったブラジルの多彩な文化に魅了された人・・・その理由は多種多様だと思います。小中学校の時、ブラジルにルーツを持つ友人がいたことをきっかけにしてポルトガル圏の文化を学んでみたいと思った人もいるでしょう。1990年の入管法改正により日系南米人が就労機会を求めて日本に移動しはじめてから、今年で30年となります。それらの人の多くは、20世紀初期に開始された日本人移民の子孫であり、実は日本とブラジルとは100年以上もこうしたつながりを持っているのです。こうしてみると、日本で暮らす私たちにとってポルトガル語圏の世界は想像以上に身近な存在であることに気が付くのではないのでしょうか。

さて、明確な理由はないけれどポルトガル語圏にアンテナが向いたというあなたはとても貴重な感性を持っています。ぜひ、大学での講義をつうじて、あるいは講義以外のさまざまな空間で、ポルトガル語圏とつながりのある「何か」と出会って下さい。その出会いは、必ずあなたの世界を格段に広く多様なものにしてくれるはずです。

皆さんが手に取っているこのESCADA（エスカダー）という冊子は、ポルトガル語学科の学生が経験するさまざまな事柄に関する情報を集めたものです。ESCADAとは、ポルトガル語で階段という意味をもつ言葉です。一年ずつ、確実に学びを積み重ね、自分だけが歩むことのできる階段を上って行ってほしいという願いが込められています。ポルトガル語の習得には受験勉強とは異なる努力と粘り強さが必要となります。ただ、その積み重ねがあるからこそ、「何か」はあなたの世界を豊かにしてくれるということを忘れないで下さい。皆さんの出会うポルトガル語圏の魅力を教えてもらえることを楽しみにしています！

2年次以上の皆さんへ

春休みも終わり、いよいよ新学期が始まります。2年生は昨年以上にポルトガル語の予習復習に時間を費やす一年となり、研究コースの選択や留学など、自分の関心分野を探る大切な時期となります。3年生はそのテーマを明らかにする研究を進めながら、社会でどのように生きるか自分の進路について具体的に模索する一年になるでしょう。4年生は、就職活動やゼミ論・卒業論文に多忙な一年であると同時に、学生生活というかけがえのない時間の終わりを実感する時期を迎えます。「もっといろんな講義を取っておけば良かった！」と後悔しないように、上智大学のキャンパスで充実の日々を送って下さい。